

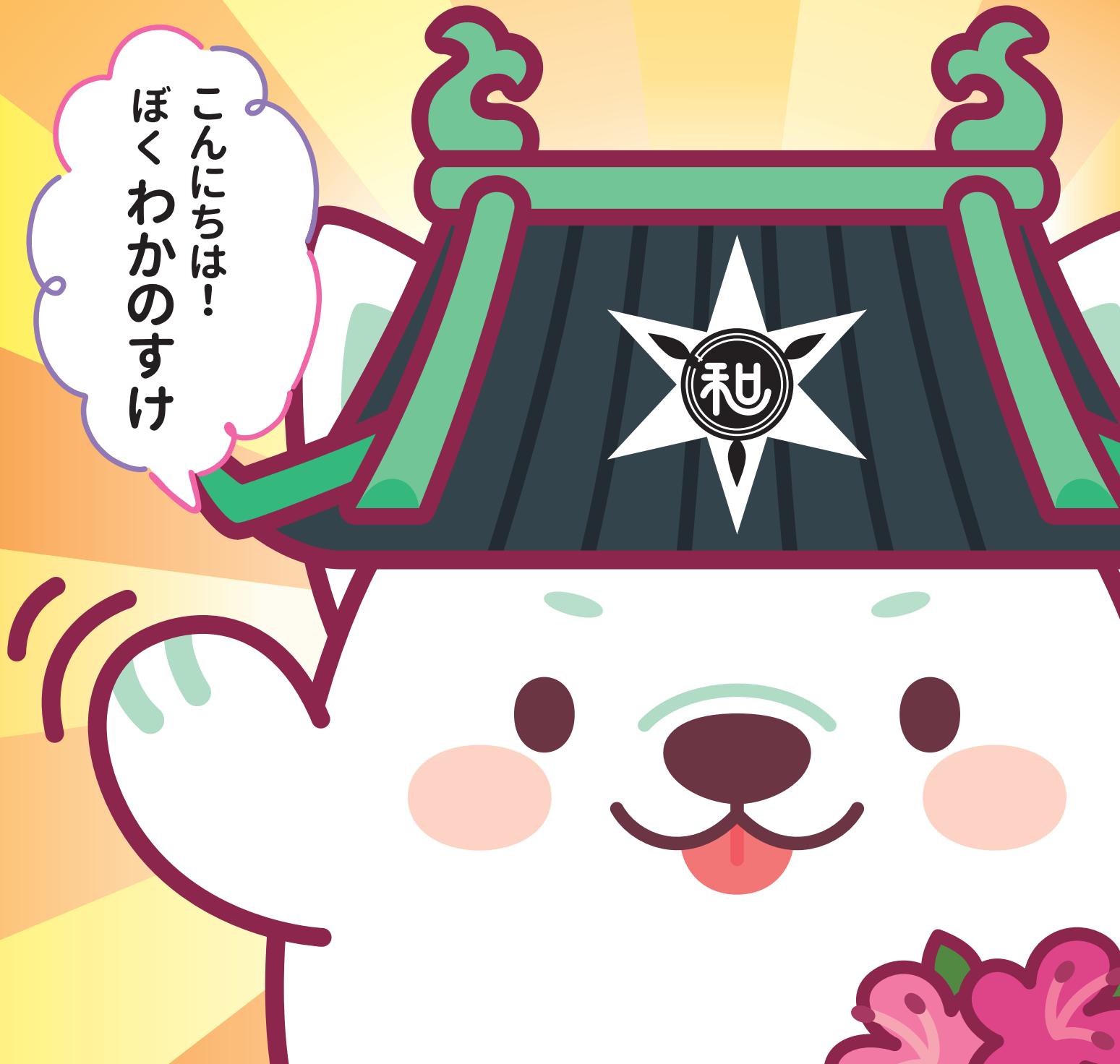
わかやま 市議会 だより

No.119 令和7年(2025年)11月1日発行

目次

・特集 和歌山市議会公式マスコットキャラクター わかのすけ誕生	P2
・9月定例会の概要	P4
・採決状況	P5
・一般質問	P6
・委員会審査の概要	P10
・市議会からのお知らせ	P12

こんにちは!
ぼくわかのすけ



特集vol.31 和歌山市議会公式マスコットキャラクター

わかのすけ誕生

和歌山市議会では、子供たちに社会や政治について興味を持ってもらい、理解を深めたり、自分のこととして考え方行動する力を身に付けてもらうための「主権者教育」を推進しています。子供たちに、より議会に親しみを持つていただきたい——。そんな思いから、和歌山市議会公式マスコットキャラクターが誕生しました。今回は、その魅力や制作の背景に迫ります。



優秀賞

ゆわ
結和ちゃん

和歌山市らしさを表現するために紀州犬を擬人化。紀州てまりやつじ、着物などの文化を取り入れています。市議会と市民を結ぶ存在になれるようにとの思いが込められた作品です。

最優秀賞

わかのすけ

和歌山城の屋根と紀州犬を組み合わせたキャラクター。胸にはコサージュとして市の花のつつじを付け、屋根にはき章が入っており、和歌山市らしさが一目で分かるようになっています。体は和歌山市の和の字にちなんで和やかで親しみやすい丸っこいシルエットです。

優秀賞

わしまる

「和歌山市議会」の和(わし)と、知性や広い視野を象徴する鳥の鷺(わし)を掛け合わせています。「市民の声を聞き取りまちの未来を考える」姿勢を鷺に重ね、親しみやさを出すために語尾に「まる」を加えた作品です。



誕生の瞬間

9月9日、和歌山市議会公式マスコットキャラクター発表式が議場にて開催され、芝本議長はじめ市議会議員が出席しました。

慎重な選考を経て誕生したキャラクターがお披露目されると、議場には穏やかで期待にあふれた笑顔が広がり、議会の新たな一步を感じるすばらしいひとときとなりました。

子供たちはもとより、世代を超えて愛され、市民の皆様とのきずなをつなぐ存在に――。

わかのすけ
のこれから活躍に、議員一同
が心を寄せて
います。

最優秀賞を発表する芝本議長



編 集 後 記



心の籠もった作品が多く寄せられ、本当にうれしく有り難い気持ちでした。作品に込められた思いに触れ、胸が熱くなりました。

これからわかのすけと共に成長しながら、特に若い世代や子供たちが「政治は自分たちのもの」と感じられるよう、主権者教育を一歩ずつ、丁寧に、そして力強く進めてまいります。

特集担当: 林元 光広、山路 恭世

和歌山市議会初の公式マスコットキャラクター「わかのすけ」が誕生しました。

5月から約2か月間、全国からデザインを募集したところ、応募総数はなんと1002作品にのぼり、予想を大きく上回る反響に驚きと感謝の気持ちでいっぱいです。

寄せられた作品は、どれもが議会への思いや創意工夫にあふれており、選

ん、多くの皆様から愛されるキャラクターを作りたいとの思いから、市立小学校、中学校、高等学校の児童生徒や、全国の皆様にも投票していました。作品の審査に御協力いただいた皆様、ありがとうございました。

回答には、「議員さんは堅くて厳しいイメージだつたけど優しかった」といったものがあり、議会をもっと身近に感じてもらう必要があるのではないかと強く感じたのです。

そこで、広報委員会を中心に、どうすればより親しみを持つてもらえるのか検討を重ねた結果、難しく感じられる大切な議会の話題も、キャラク

皆に愛されるキャラクター

考は丁寧に時間かけて行うこと。

また、子供たちはもちろ



けは、「親子D.E.議会・自由研究ツアーや「ジュニア会議」などの主権者教育の取組の中で、子供たちに行つたアンケート。

ターを通してなら関心を持つてもらえるのではないかと、制作に踏み切りました。

身近な議会を目指して

今後は、わかのすけが市議会よりやSNSなど様々なか場面で登場し、議会の魅力を効果的に伝える存在として活躍します。

議会の顔として、未来を担う子供たちが政治やまちづくりに興味を持つきっかけになることを願つてやみ

ます。

そこで、広報委員会を中心には、どうすればより親しみを持つてもらえるのか検討を重ねた結果、難しく感じられる大切な議会の話題も、キャラク

担当の子供たちが少しでも多く育まれるよう、今後も市民の皆様とのつながりを大切にしながら、親しみやすい議会づくりを進めてまいります。

投票率の低下などの課題がある中、幼い頃から政治を身近に感じ、主体的に参画する子供たちが少しでも

投票率の低下などの課題がある中、幼い頃から政治を身近に感じ、主体的に参画する子供たちが少しでも多く育まれるよう、今後も市民の皆様とのつながりを大切にしながら、親しみやすい議会づくりを進めてまいります。



身近な議会を目指し議会広報に取り組んでいます。その思いを象徴する存在がわかのすけです。

議会では、市民に最も

身近な議会を目指し議会広報に取り組んでいます。その思いを象徴する存在がわかのすけです。

議会では、市民に最も

9月定例会の概要

開会

9月9日

・会期の決定(9月9日～9月26日)

・議案説明(報告関係6件、議案27件(補正予算案5件、条例案9件、その他13件))

一般質問等

9月11日

・林元光広議員、坂口多美子議員、中庄谷孝次郎議員、辻本太一議員

9月12日

・赤松良寛議員、園内浩樹議員、南畠幸代議員

9月16日・古川祐典議員、奥山昭博議員、戸田正人議員(P6～P9に概要掲載)
・議案の委員会付託

常任委員会

9月17日～22日

・総務委員会、厚生委員会、経済文教委員会、建設企業委員会で議案について審査

9月24日

・各常任委員会で議案について、討論及び採決(P10～P11に概要掲載)

9月26日

- ・各常任委員会の委員長報告
- ・反対討論(南畠議員)、採決
- ・請願(1件)、採決
- ・追加議案の説明(人事案件5件)、採決
- ・議員発議(条例の一部改正1件、意見書案2件)、採決
- ・追加議案の説明(決算関係17件)
- ・決算審査意見書の説明
- ・決算関係の議案に対する質疑(森下議員)

※決算関係の議案は各常任委員会の閉会中継続審査

閉会

令和7年度予算(9月補正後)

一般会計	1,622億2,245万8千円 (補正額2億4,554万2千円)
特別会計及び公営企業会計	1,398億7,001万8千円 (補正額9億3,850万9千円)
合計	3,020億9,247万6千円

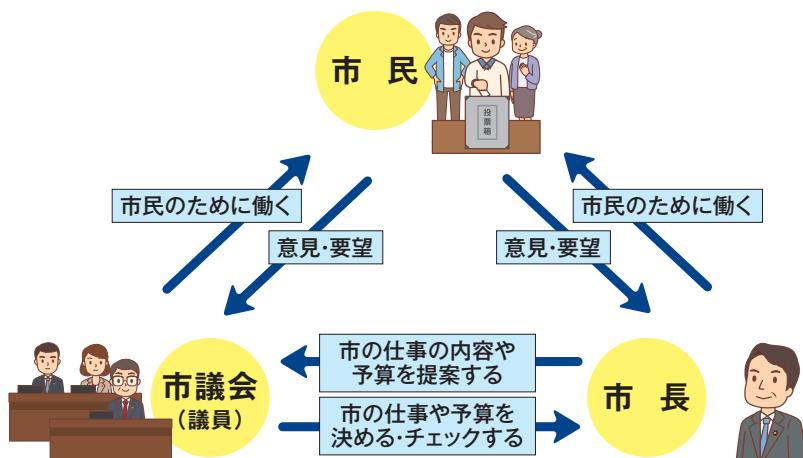
補正予算の概要

一般会計では、教育機関支援等基金事業、王将戦和歌山対局開催事業、観光プロモーション事業、ナイトタイムエコノミー推進事業、扇の芝整備事業などに要する経費が計上されました。

特別会計では、卸売市場事業特別会計で、中央卸売市場施設整備事業に要する経費が計上されました。

これらの補正予算案は慎重審査の結果、可決されました。

議会の仕組み(市民・市議会・市長の関係)



和歌山市議会では、本会議場にモニターを設置し、会議の進行状況等が分かりやすくなりました。

また、傍聴の手続も簡素化しましたので、お気軽にお越しください。

生中継・録画
中継がご覧いただけます。



9月定例会採決状況

※議案等に対する賛成者は「○」、反対者は「×」、退席者は「-」、欠席者は「欠」と表記しています。

なお、議長は通常、採決に加わらないため「/」としています。また、議員名は、会派ごとに議席番号順に表記しています。

※採決状況は、市議会ホームページでもご覧いただけます。





録画中継がご覧いただけます。

※各会派のスペースは、会派の所属議員数によりその大きさが異なります。

一般質問



一般質問の概要では、多数ある質問項目の中から、特に市民の皆様へお届けする内容をピックアップした上で掲載しています。

問 市の財政支出はどうか。
また、教育内容に日本の歴史や文化教育を担保する仕組みを設けられるのか。

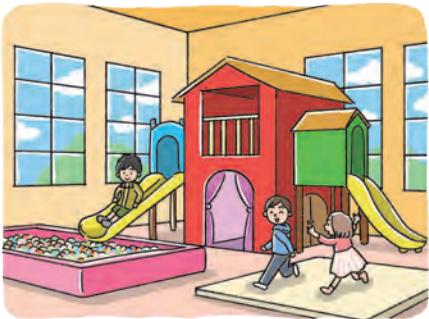
答 ふるさと納税を活用した補助と、国制度による建物改修補助を検討してい

インターナショナルスクール



はやしもと みつひろ
林元 光広

創和クラブ



問 猛暑でも安心して遊べる室内公園はできないか。

答 将来的にスポーツ公園を検討している。室内公園も今後、地域特性を踏まえ検討する。

問 文化やスポーツ等を通じて、様々な交流の機会を創出したいと伺っている。

答 経験を得る機会はあるが、市内の子供たちが国際経験を得る機会はある。

問 入学予定者の国籍比率はどうか。

答 日本人3割、外国人7割の方針。先に開学した学校では、約30か国にわたる多様な国から入学がある。

問 入学予定者の国籍比率はどうか。

答 日本人3割、外国人7割の方針。先に開学した学校では、約30か国にわたる多様な国から入学がある。

北部丘陵地東西道路と周辺地域

問 3年間で卒業する三修制において、学校内授業内では72単位の履修しかできず、卒業に必要な74単位までの残り2単位を外部の検定試験などに頼つてしまつて

市立和歌山高等学校定期制の学校運営



つじもと たいち
辻本 太一

問 3年間で卒業する三修制において、学校内授業内では72単位の履修しかできず、卒業に必要な74単位までの残り2単位を外部の検定試験などに頼つてしまつて

答 費用面など課題があるが、新たな技法の活用も含め事業者等と協議する。

答 東西道路は、地域資源を結び付け、交流人口の拡大に寄与する。人々が訪れ、地域の魅力を体感できるエリアとなるよう取り組む。新駅は、費用面など課題があるが、新たな技法の活用も含め事業者等と協議する。

問 紀淡海峡大橋が架橋されれば、人流・物流の拠点に一変する。人が立ち寄りたくなる仕掛けを整備すべきではないか。また、加太駅と磯ノ浦駅間に新駅を作り、3Dプリンター駅舎施工を検討してはどうか。

問 紀淡海峡大橋が架橋されれば、人流・物流の拠点に一変する。人が立ち寄りたくなる仕掛けを整備すべきではないか。

いる現状がある。

外部活用は補完的な選択肢とし、授業内で卒業に必要な単位を全て修得可能にできないか。

問 令和6年2月定例会において、市職員の業務効率向上のため、年末調整手続の電子化を提案したが、現在の進捗はどうか。

答 令和10年度に人事・給与システムの更新を予定しており、その時期に導入でき

答 全日制と同じ教室を使用しているため、様々な工夫が必要であるが、三修制の生徒が授業内で卒業に必要な単位を修得できるよう、他の定期制高校の状況を見ながら検討していく。



るよう取り組んでいく。

本市のデジタル化推進計画は2022年に策定されたが、策定後のデジタル関係の状況は目まぐるしく変化している。国の自治体は改定され、新しい課題や技術が追加されている。

問 避難時の移動手段として、機動的に活用できるバッテリー付き自転車の購入補助制度の検討が必要と考える。また、災害発生時に

防災行政



ふるかわ まさのり
古川 祐典

答 本計画の期間は令和7年度末までとなつており、次期計画においても年次的な検証や必要に応じた見直しを行い、変化に即した柔軟な対応に努めていく。

答 本計画の期間は令和7年度末までとなつており、次期計画においても年次的な検証や必要に応じた見直しを行い、変化に即した柔軟な対応に努めていく。

どうすれば助かるのか、現実的に動ける体制を市民と作っていく段階に移行していく必要があると思つ。今回の津波避難状況を教訓に、今後の行政の大規模災害に対するフェーズを上げた取組姿勢をどのように考へるか。

問 市民の素早い避難の確保を後押しする対策を推進し、人的被害を出さない取組のフェーズを上げて着実に進めていく。

答 市民の素早い避難の確保を後押しする対策を推進し、人的被害を出さない取組のフェーズを上げて着実に進めていく。

人材マネジメント

とだ まさと
戸田 正人

したところ「やりがいやモチベーションを高める仕組みがない」「仕事の意味が見えにくい」との声が目立つた。こうした課題は職員の人材流出にもつながりかねない。民間ではエンゲージメント向上の取組が進み、離職防止につながっている。本市としても同様の仕組みが必要ではないか。

答 アンケートで示された課題に対し、職員表彰制度や府内DX副業制度等を進めてきたが、十分に浸透し実感を伴う段階には至っていない。そのため制度を「形」から「実効性」へと高め、1on1面談や心理的安全性確保、カスタマーハンゲージメントの向上と協力しつつ本市独自の支援を組み合わせ、保育士確保に全力で取り組む。

問 地域限定保育士制度の全国展開を含めた今後の保育士確保に関する市の方針はどうか。

答 現場の声を丁寧に伺いながら必要に応じて効果的な活用に取り組む。

問 保育士の確保に向けた市長の考えと、今後の保育事業への思いと意気込みはどうか。

答 保育の様子(七夕まつり)



ビジネス等のスタートアップ人材をどう支援・育成していくのか。



問 職員アンケートを実施

答 人口減少時代では人材育成を市政の根幹に据えることが不可欠である。職員については政策構想力や合意形成力を高め、住民や企業をつなぐファシリテーターとして成長できる研修を充実させる。若者や女性については参画機会や挑戦の場を広げ、次代を担う力を引き出す。さらに、ソーシャルビジネス等のスタートアップ人材については、支援や産官学金労言連携による伴走体制を整え、新産業創出につなげるとともに、持続可能で魅力あるまちづくりを進めていく。

問 出産育児一時金の増額にもかかわらず、正常分べんであっても費用が50万円を超えるケースが多く、無痛分娩を選択した場合には更に追加費用が生じるのが実情である。少子化対策として、そして安心して出産できる環境整備の一環として、無痛分娩に対する公的支援制度の導入は急務であると考える。

問 人口減少が避けられない現実を前提とした地方創生2.0基本構想では、「人づくり」の視点が明記されている。持続可能な和歌山市を築くため、職員がまちの未来をデザインする力を養うとともに、若者や女性が地域の担い手として参画する仕組みや、ソーシャル

公明党議員団

そのうち ひろき
園内 浩樹

している。また、助成制度についても経済的負担の観点から重要性は十分認識している。

今後、国における安全管理体制の標準化等の検討状況を注視しながら、導入に向けて取り組んでいく。

教育政策

問 第6次学校図書館図書整備等5か年計画は、文部科学省が令和4年度から令和8年度までを対象に策定した計画で、全国の公立小中学校などの学校図書館の充実を目指している。

今年は既に4年目だが新

聞配備及び学校司書の配置が進んでいないのはなぜか。



答 教育現場において必要とされる人材や教材等は多

岐にわたつており、限られた予算の中で教育委員会と学校現場が連携し、総合的に優先順位を判断してハード・ソフト両面から学校教育環境の整備を進めているところではあるが配置が進んでいない状況である。

問 来年度は最終年度だが

この5か年計画の内容をどこまで進めるのか、具体的に示されたい。

答 令和8年度は、学校司書の増員と全ての学校図書館への新聞の複数紙配備を目標とし、他の教育施策とのバランスを踏まえながら慎重に検討していく。

令和8年度で本計画は終了となるが、引き続き読書環境の整備に努めていく。



おくやま あきひろ
奥山 昭博

PFSの導入

問 PFS（成果連動型民間委託契約方式）とは、自治体が事業の成果指標を設

定しその改善度合いに応じて委託料を支払う民間委

託の契約形態である。委託された民間事業者は、目標達成のためにあらゆるノウハウを駆使し、実施する内容を考え事業を進める。その結果、成果が出て数値目標を達成すれば満額がもらえ、目標を下回れば、その数値に応じた分の金額しかもらえない。まさに理にかなった契約方式であり、本市においても早急に導入すべきと考えるがどうか。

答 PFSには、自治体と民間事業者の双方にリスクが存在する点を踏まえ、今後も先進事例の研究を進めつつ、国の支援制度や他都市の成功事例などを各部局に情報提供することともに、PFSに適した分野を見極め、導入に向けて支援を積極的に行っていく。

る。

本市でも移住者向けの空き家改修補助制度などの補助金等もあるが、このような制度を更に拡充して、中古物件の購入を積極的に促す制度や、長く住み続ける住宅に対しても改修費用の助成など、流通や利活用を積極的に促すことでの効果があるのではないか。

今後、増加が予想される空き家について、補助制度などを新たに検討すべきだと考えるがどうか。



答 空き家の流通や活用を促進するため、空き家バンク等を活用して移住者が空き家を改修する際の費用助成や、耐震性のない住宅に対する改修費用の助成など

の取組を進めていく。

今後も空き家の発生抑制に向けた相談会の啓発活動を積極的に行うとともに、補助制度等については、国や他都市の事例等の調査も含めて検討していく。

問 子供食堂は、地域「ミユ三ティ」の重要な場として高齢者も利用しているにも関わらず、子育て支援課が窓口になっていることを疑問に思う。



あかまつ よしひろ
赤松 良寛

和歌山興志クラブ

問 子供食堂は、地域「ミユ

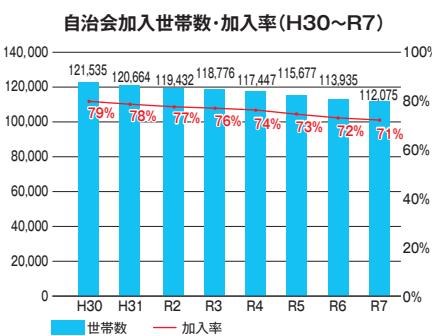
三ティ」の重要な場として高齢者も利用しているにも関わらず、子育て支援課が窓口になっていることを疑問に思う。

答 県では県社会福祉協議会が窓口になっており、一度組織の在り方や業務の割り振りの再考、それに伴う組織改編について考える必要があるのではないか。

また、ボランティア団体の登録が、市民自治振興課と市社会福祉協議会になつており、明確な区分がないま

答 これまでも、様々な行政課題に迅速に対応し、組織づくりや事務分担の見直しを行つてきた。

ご指摘の事例である業務の重複や、業務内容の変化に伴う担当部局の不明瞭さといった課題があることから、より市民にとつて分かりやすい組織づくりを目指し、



実態もある。ダブリ業務を洗い出すとともに、ふさわしい担当部門を設定し直すことは、市民から見ても分かりやすく利便性を高め、地域「ミニユーティの向上にもつながると考える。

これらの例を踏まえて、今後の組織づくりに向けた市長の考えはどうか。

日本共産党議員団



さかぐち たみこ
坂口 多美子

加太太陽光發電事業

が設置されれば、加太・深山地区が有する観光資源に大きな負の遺産となるのは明らか。住民からは「説明会が不十分」との声もある。市民の暮らしを守るべき市長として大規模開発をどう考えているのか。

改めて類似業務の見直しや適切な担当部局の設定を行ふとともに、外郭団体との協議や連携も行いながら、最適な行政運営に向けた体制の構築に努めていく。

核兵器禁止条約



みなみばた さちよ
南畑 壽代

就学援助制度

問 6月の熱中症の救急搬送者は昨年の4・36倍で室内が一番多い。エアコンがない、電気代が気になつて使用をためらつ方がいる。

高齢者や生活困窮者世帯へのエアコン設置等の補助に取り組んではどうか。

答 他都市の状況を踏まえ研究していく。

問 夏季加算の創設について

生活保護世帯のエアコン

答 戰後、被爆80年の節目に、市長の思いはどうか。

日本維新の会



なかしょうや こうじろう
中庄谷 孝次郎

大阪・関西万博

問 2月議会の代表質問では、和歌山市立小・中学校及び義務教育学校の全ての学校が参加の申込みを行つてゐるとの答弁であった。

万博が開催され5か月が経過したが、学校の参加状況と参加後の事後学習など、学びを深める活動はどうしているか。

ノ設置状況等の実態を反映させた提言内容にすべきだと思うがどうか。
答 全国市長会を通じ、得力のある提言に努める。

市民図書館の選書

問 現在の若者の中には活字を読むのに抵抗がある人もいる。漫画から本を読む習慣をつけねば、読書の推進になる。漫画は今や日本の文化であり、未来のために後世に残す資料として、積極的に所蔵すべきである。今後、図書購入の予算を検討してはどうか。

答 漫画の収集・保存・提供の在り方についての調査研究を踏まえ、必要に応じた予算を検討する。

＼声の市議会だより／

(市議会だよりの音声版)

市議会の活動をより一層知っていただくために、声の市議会だより（市議会だよりの音声版）を作成しています。

ご希望の方は、議会事務局 秘書広報課
☎435-1120までご連絡ください。

委員会審査の概要

総務委員会

当委員会に付託された議案7件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和7年度和歌山市一般会計補正予算(第4号)中、公正職務審査会事業16万円について。これは、公正職務審査会委員の附属機関委員報酬を増額補正するものです。



シティプロモーション事業200万円について。これは、本市の認知度向上と観光誘客につなげるため、本市6エリアの擬人化キャラクターのデザイン等を行うもので

録画中継



9月17日



9月19日



議案第5号、和歌山市教育機関支援等基金条例の制定について。これは、本市と連携・協力し、地域交流や地方創生に取り組む教育機関等の支援及び教育関連事業の推進に要する経費の財源に充てるため、寄附金を募り、これを積み立てることを目的として「和歌山市教育機関支援等基金」を設置するものです。

なお、審査過程において、梅原用地へのインテナーショナルスクール誘致などについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

シティプロモーション事業200万円について。これは、本市の認知度向上と観光誘客につなげるため、本市6エリアの擬人化キャラクターのデザイン等を行うもので

中長期在留者住居地届出等事務事業233万2千円について。これは、中長期在留者住居地届出等事務事業において、国庫支出金の内示に合わせて、増額補正する

議案第1号、令和7年度和歌山市一般会計補正予算(第4号)中、産後ケア事業993万9千円について。これは、産後ケア事業において、利用件数が当初の見込みよりも増加する見込みとなつたため、増額補正するものです。

新興感染症等検査事業179万6千円について。これは、急性呼吸器感染症(ARI)の国への報告内容追加に伴い、検査に必要な医薬材料費を増額補正するものです。

感 染 症 発 生 動 向 調 査 事 業 7 万

2千円について。これは、急性呼吸器感染症(ARI)が5類感染症に位置付けられ、感染症発生動向調査の対象感染症として国への報告内容に追加されたため増額補正するものです。

中長期在留者住居地届出等事務事業233万2千円について。

これは、中長期在留者住居地届出等事務事業において、国庫支出金の内示に合わせて、増額補正する

厚生委員会

当委員会に付託された議案3件について、慎重審査の結果、可決すべきものと、また、請願1件について、不採択とすべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和7年度和歌山市一般会計補正予算(第4号)中、産後ケア事業993万9千円について。これは、産後ケア事業において、利用件数が当初の見込みよりも増加する見込みとなつたため、増額補正するものです。

脱炭素化推進事業2224万8千円について。これは、個人向け太陽光発電及び蓄電池補助金の申請件数が当初の見込みよりも増加する見込みとなつたため、増額補正するものです。



録画中継



9月18日



9月22日

なお、審査過程において、居住安定援助賃貸住宅事業(居住サポート住宅の認定制度)について、和歌山市の環境令和6年度報告(概要版)などについて執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

なお、審査過程において、居住安定援助賃貸住宅事業(居住サポート住宅の認定制度)について、和歌山市の環境令和6年度報告(概要版)などについて執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望があ



委員会の模様をインターネットで配信しています!

市議会ホームページから録画中継がご覧いただけます。



経済文教 委員会

和歌山城公園シンポジウム開催
事業300万円について。これは、シンポジウム助成事業助成金を活用し、令和8年に全国で放映される歴史ドラマを契機として、和歌山城に関するシンポジウムを開催するものです。

当委員会に付託された議案4件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和7年度和歌山市一般会計補止予算(第4号)中、王将戦和歌山対局開催事業98万9千円について。これは、将棋文化の普及を図るため、実行委員会を立ち上げ、第75期王将戦和歌山対局を開催するものです。



果樹病害虫防除対策事業38万円について。これは、クビアカツヤカミキリの防除対策として、被害木の伐採、根覆い、抜根等を行うものです。

観光プロモーション事業743万8千円について。これは、和歌山城などを活用し、歴史をテーマとした観光PRを実施するため、観光案内マップの作成、SNSを活用した効果的なプロモーションによる経費を補正するものです。

録画中継



9月18日



9月22日

鳶魚閣(えんぎょかく)保存修理事業303万3千円について。これは、西之丸庭園の魅力向上を図るため、老朽化が進んでいる鳶魚閣の修理工事に係る設計費用を補正するものです。

学校ＩＣＴ環境設備整備事業99万円について。これは、学校のネットワーク環境における通信環境の向上を図るもので。

安原小学校吉原分校解体撤去事業7167万6千円について。これは、令和4年度末に廃校となつた安原小学校吉原分校の校舎やプールなどの解体工事を行うものです。

議案第12号、和歌山市工業用水道条例の一部を改正する条例の制定について。これは、責任消費水量制において、課題となつている契約水量と実使用水量の乖離による負担を軽減するため、二部料金体系を導入し、実使用水量に応じた料金体系となるよう、所要の改正を行ふものです。

議案第13号、和歌山市水道事業給水条例等の一部を改正する条例の制定について。これは、災害その他非常の場合において、給排水設備等の復旧を円滑に実施できる体制を確保するため、本市公営企業管理者の指定を受けた施工業者が実施する給排水設備等の工事について、他都市の水道事業者又は公共下水道管理者の指定を受けた施工業者が当該工事を行うことが

録画中継



9月17日



9月19日

建設企業 委員会

可能となるよう所要の改正を行ふものです。

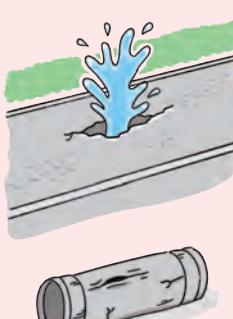
当委員会に付託された議案17件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和7年度和歌山市一般会計補正予算(第4号)中、消防活動事業306万5千円について。これは、個人からの寄附金を活用し、救急用資機材の購入及び庁舎修繕を行ふものです。

議案第27号、令和7年度和歌山市一般会計補正予算(第5号)中、道条例の一部を改正する条例の制定について。これは、責任消費水量制において、課題となつている契約水量と実使用水量の乖離による負担を軽減するため、二部料金体系を導入し、実使用水量に応じた料金体系となるよう、所要の改正を行ふものです。

議案第27号、令和7年度和歌山市一般会計補正予算(第5号)中、グリーンスローモビリティ実証調査事業442万9千円について。これは、まちなかの移動ニーズの把握や新たな交通ルートを検討することを目的として、グリーンスローモビリティ車両を活用し、実証運行を行ふものです。

議案第27号、令和7年度和歌山市一般会計補正予算(第5号)中、全国消防救助技術大会への出場マイナ保険証を活用した救急業務の円滑化に係る令和7年度実証事業の開始、紀の川送水管複線化工事の概要、居住安定援助賃貸住宅事業(居住サポート住宅の認定制度)、和歌山電鐵貴志川線の再構築に向けた検討資料などについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。



ようこそ!和歌山市議会へ

第2回親子DE議会! 自由研究ツアーガ 開催されました!

15名の子供たちと保護者の皆さん方が参加し、議会の仕組みや役割について、楽しく学びました。

今年は新たな取組として、模擬投票も実施。実際の投票体験を通じ、選挙や政治への関心を深めるきっかけとなることを願っています。



ジュニア会議が開催 されました!

中学生たちが、地域や学校の課題について真剣にアイデアを発表し、広報委員が講評しました。

まちづくりや災害時の対応など、現地調査やアンケートを踏まえた熱心な取組と工夫が感じられました。中学生の思いを、市政の参考にしていきます。



和歌山市議会議員研修会

和歌山市議会は、9月に千葉大学大学院社会科学研究院教授の倉阪秀史様を講師としてお招きし、「地域の未来予想図—人口・環境など予測データ『未来カルテ』を使った逆算の政策づくり」をテーマにご講演いただきました。各種統計データを用いたシミュレーションにより、本市の傾向や課題等が可視化され、大変有意義な研修会となりました。



議員研修会の様子

議員連盟 活動 レポート Vol.33

古川会長はじめ日中友好和歌山市議会議員連盟は、大阪総領事館の薛劍（せつけん）総領事から招待を受け、芝本議長と8月に2025年日本国際博覧会・中国パビリオンを訪問しました。持続可能な社会に向けた取組や歴史等を学ぶことができました。日中友好和歌山市議会議員連盟は、今後も中国との友好交流に努めてまいります。



中国パビリオン訪問の様子

議員連盟 活動 レポート Vol.34

8月21日に美濃加茂市、22日には各務原市及び岐阜市を訪問し、スポーツ振興をはじめ、まちづくり・子育て支援・民間活力の導入といった幅広い分野について先進事例を視察しました。



リバーポートパーク美濃加茂での視察の様子

緑地公園を活用したスポーツ・レジャーと観光の融合や、地域の子育て支援と民間活力を一体的に組み合わせる取組を拝見し、本市における応用の可能性を強く感じました。スポーツ振興は単なる競技や運動の推進にとどまらず、まちづくりや子育て等、地域経済の活性化といった多面的な効果を生むものと捉え、更なる活動を続けてまいります。



わかのすけからのお知らせ

7月11日 吹上小学校の皆さん方が議場見学に来られ、広報委員が議場などをご案内しました。

和歌山市議会広報委員会

【委員長】林元 光広 **【副委員長】**木野 十三
【委 員】中庄谷 孝次郎 坂口 多美子 山路 恭世
 清末 博善 堀 登美子 辻本 太一
 志賀 弘明 赤松 良寛

市議会だよりを採点してください!

議会広報アンケート
実施期間:
令和8年1月31日
(土)まで



現在

★★★3.4!!
★★★★★
R7.9月時点



和歌山市議会ホームページ 和歌山市議会
<http://www.city.wakayama.wakayama.jp/gikai/>

検索

地球環境保護のために、
再生紙及び植物油インキを使用しています。

